

# ラグビー部

現部長 杉田 祐基  
前部長 清水 康弘  
顧問 吉田・柿崎 先生

今年のラグビーワールドカップをみなさんはご覧になりましたか？

ラグビーを簡単に言うと、自分たちが築き上げてきたものをボールに込めて、パスで繋いでいき、チーム全員でトライを決めるスポーツなんです。

僕たちラグビー部の誰もが最初は、「なんでこんな危なくて、マイナーな部活に入ったんだらう……。」と思って後悔していました。しかしそれは、先輩方のプレーを目の当たりにして変わりました。

本当の「ラグビー」はチームみんなのために体を張って守り、敵を打破しながら突っ走り、みんなで一つの喜びを分かち合うことです。そして、試合後には相手チームと健闘を讃え合います。大袈裟だ、と思われるかもしれませんが、こんなに魅力のあるカッコいいスポーツが出来るのはラグビー部だけだと思います。

だから僕たちは、ラグビーをやっていることが誇りなのです。

また、人数が十一人と少ない部活ではありませんが、セブンズという七人制の全道大会で一昨年は「三位」、昨年は「四位」という結果を残しています。これは僕たちの武器である「チームワーク、雰囲気よさ」と顧問である吉田先生と柿崎先生の指導力があるからこそ成せた大業だと思っています。

また、スポーツにはケガがつきものですが、僕たちは週二日を筋トレ中心の日と設定しています。そのため三ヶ月もあれば体を格段と変えることができ、ケガをしにくい体にし、スポーツを楽しむことが出来ます。

最後になりますが、みなさんがラグビーに対して抱いているイメージは「誤解」にすぎません。もし、この文章を読んで何かを感じたら、男女問わず、僕たちと分かち合いませんか？

